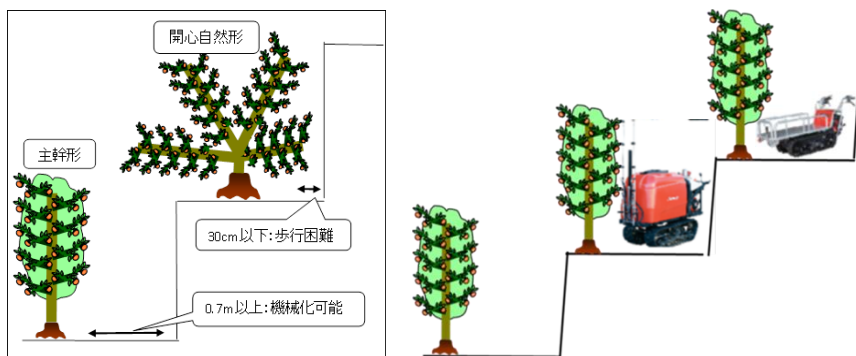
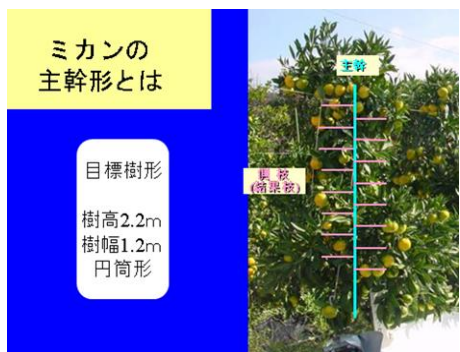


主幹形仕立ての温州ミカンで機械化を実証

温州ミカンの主幹形仕立ては樹高2.2mの円筒形に仕立てた樹形であり、早期成園化が可能で果実品質が優れています。樹幅が狭いため急傾斜地の幅の狭いテラス面に植栽しても作業道が確保でき、省力機械の導入も可能です。

■ 樹形がコンパクトなため、急傾斜地に植栽しても作業道が確保できる

温州ミカンの主幹形仕立ては樹高2.2mの1本の主幹に、長さ60cmの側枝を直接25本程度発生させた樹形であり、早期成園化が可能で果実品質が優れています。コンパクトな樹形のため、急傾斜地のテラス面でも作業道が確保でき、そこへ省力機械を導入できます。



主幹形仕立てを傾斜地のテラス面に導入

■ クローラ型防除機

温州ミカンの栽培で通常年間8回行われる防除や、葉面散布の省力作業が可能です。夏季の軽労働化ができます。



■ クローラ型運搬機

クローラ型防除機のタンクを取り外し、荷台を乗せると収穫物等の運搬車になります。軽労働化が図れます。



■ 「大規模園地」で更に省力化が期待できます

これらの機械を、1ha規模の園地で利用するとスケールメリットも発揮され、更なる省力化と軽労働化の効果が発揮できます。